

## 平成 28 年度県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会概要議事録

開 催 日：平成 29 年 2 月 24 日（金）

開催場所：盛岡市総合福祉センター 4 階 講堂

開催時間：午前 10 時 30 分から午前 11 時 26 分まで

傍 聴 者：一般傍聴者なし，報道機関 4 社

次 第：1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) ごみ処理施設整備候補地の検討状況について

(2) 新組織設立検討状況及びスケジュールについて

(3) 平成 27 年度協議会事業報告及び決算報告について

(4) 平成 28 年度協議会事業中間報告及び決算見込みについて

4 協 議

(1) 平成 28 年度協議会補正予算（案）について

(2) 平成 29 年度協議会事業計画（案）及び予算（案）について

5 そ の 他

6 閉 会

### 会議結果・要旨

発言者	内 容
事務局	1 開 会 事務局から開会を宣言
谷藤盛岡市長	2 あいさつ 本日は御多忙のところ，御出席を賜り感謝申し上げます。御出席の皆様には，これまで県央ブロックの広域化推進のために貴重な御意見を頂戴し，会の運営に御協力を賜りましたことに重ねて感謝申し上げます。 本協議会におきましては，平成 26 年度に策定した基本構想に基づき，平成 41 年度からの稼働を予定する，新しいごみ焼却施設の整備候補地

	<p>を検討するため、昨年度から検討を進めている「県央ブロックごみ処理施設整備候補地検討委員会」においては、昨日、第十二回検討委員会が開催され、3箇所程度となる最終候補地の選定について協議しているところでございます。</p> <p>本日は、これまでの整備候補地の検討状況をはじめ、新しい組織の設立に向けたスケジュールなどを御報告させていただきますほか、平成29年度の事業計画や予算等について、お諮りしたいと考えております。</p> <p>結びに、今後とも本協議会の事業運営につきまして、御指導、御協力を賜りますようお願いを申し上げます、あいさついたします。</p>
<p>谷藤盛岡市長</p>	<p>3 報 告</p> <p>協議会規約第5条第1項の規定に基づき会長が議長となり議事進行</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) ごみ処理施設整備候補地の検討について</p> <p>[事務局から説明]</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 新組合設立スケジュール及び課題について</p> <p>[事務局から説明]</p>
<p>柳村滝沢市長</p>	<p>経費の支弁方法について、人口割合だけでなく標準財政規模等を入れて検討いただきたい。</p>
<p>民部田岩手町長</p>	<p>東京オリンピックを控えて、建設費の額が大幅に変わるような見通しはあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新焼却施設の建設は平成37年度から予定しており、オリンピック終了後となるので、現時点では不確実なところである。</p>
<p>事務局</p>	<p>(3) 平成26年度協議会事業報告及び決算報告について</p> <p>(4) 平成27年度協議会事業中間報告及び決算見込みについて</p>

	[一括して事務局から説明]
田村八幡平市長	日本環境衛生センターの勉強会の中で全国のごみ処理の形態だとか交付金の状況などについての話しはなかったのか。
事務局	勉強会では、他都市の施設における余熱利用含めた事例や環境対策に係る内容であったほか、法律的なものや、日本全体の取組み状況、広域化の意義、他都市の事例等についての説明であり、2月に盛岡市で開催した住民説明会でも同様の内容を説明した。
田村八幡平市長	候補地選定業務委託について、平成27年度と28年度で業者が変わっているが、業者が変わることで支障がでないのか。
事務局	27年度である程度の絞込作業が終了し、28年度は、その中からさらに絞り込んでいく作業であったことや、27年度委託業務の成果品は28年度受注者が今年度の業務で作業できるようなものであり、業者が変わっても支障はなかった。
田村八幡平市長	補地選定業務委託について、27年度(648万円)と28年度(1,292万円)の契約金額の差はどういう理由か。
事務局	27年度の検討委員会は4回、28年度は9回と、検討委員会の開催回数の違いによるもの。
事務局	4 協 議 (1) 平成28年度協議会補正予算(案)について [事務局から説明ー承認]
事務局	(2) 平成29年度協議会事業計画(案)及び予算(案)について [事務局から説明]

鈴木葛巻町長	環境省モデル事業（エネルギー利活用計画策定）について、発電が可能であれば、売電も含めて収益性を上げる方法など、視野を広げて、国の動向も見ながら可能性を探っていただきたい。
事務局	広域の中での焼却施設建設事業となるので、御意見も含めて検討していきたい。また、広域圏のエネルギーの地産地消という観点で県と協議を行っているが、将来的な部分を含めて、広域圏の中で検討していきたい。
鈴木葛巻町長	エネルギーの利用の件について、発電以外の利活用はどういったものを考えているか。
事務局	電気以外であれば「熱利用」として、お湯の供給などの可能性がある。
鈴木葛巻町長	候補地も確定していない、ひとつひとつまだ不確定なものも数字上に数多くある中で、組合の設立を急ぐ必要もないのではないかと、細やかな対応で、不確定な部分を確実なものとして合意を得られてから、よく検討する機会を設けていただきたい。
岩手県資源循環推進課 田村総括課長	<p>[承認]</p> <p>5その他</p> <p>（県内の広域化の進捗状況について）沿岸中部，沿岸南部，岩手中部で広域化が完了しており，県北については長寿命化をしながら2施設を当面使ってからの統合していくことの検討状況，県南については3施設のうち一関分を統合して当面2施設を使ってその後の統合ということになっている。</p> <p>広域化については環境負荷の低減，合理的なごみ処理，焼却に伴うエネルギーの回収という，とても合理的な手法であり県としても推進している。</p>

<p>田村八幡平市長</p>	<p>9 ページの地図上の④(上厨川)というのは, 当初の 466 箇所の中に入っていた候補地なのか, その後, 追加になった候補地なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>当初から入っていた場所である。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から) 2月に盛岡市内4会場で開催した「住民説明会」の開催状況について報告した。</p>
<p>事務局</p>	<p>6 閉 会 事務局から閉会を宣言</p>